

| | | | | | | | |
|---|--|---|---------------|---------------|---|-----|-----|
| 科目コード | R24127 | 科目名 | 体表解剖学 | | | | |
| 履修区分 | 必修 | 開講期 | 1年前期 | 授業回数 | 15回 | 単位数 | 1単位 |
| 担当者 | 伊藤 祥史・中川 敬汰・谷岡 龍一 | | | | | | |
| 授業の概要 | 人体に触れて、骨・関節・筋の位置関係を解剖学と比較、確認する。 理学療法における視診・触診の目的を捉えたくうえで実施できる。 骨模型を2名1つ使用して、骨の触診場所や筋の起始停止などを確認しながら学ぶ。 | | | | | | |
| DPとの関連 | 慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている | | | | | | |
| | 理学療法・作業療法を実践するための専門的知識・技術を身につけている | | | | | | |
| | 生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている | | | | | | |
| | 理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている | | | | | | |
| | 地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている | | | | | | |
| 2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。 | | | | | | | |
| DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）= 卒業までに身に付けるべき資質・能力 | | | | | | | |
| 到達目標 | 1.理学療法における視診・触診の目的を説明できる。 2.触診の方法を習得し、不快感なく触ることができる。 3.骨のランドマーク・関節を触診できる。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項 | 触診ができるよう、テキストにある触診の仕方と動画を利用して復習を必ずしてください。講義ごとに触診実技テストの課題が出ますので、各班で積極的にグループワークをしてください。学校指定ジャージ、ポロシャツ、ハーフパンツを着用してください。（ただし届いていない場合は、動きやすいトレーニングウェアを持参してください。）教員3名のオムニバスで講義します。1教員の講義3分の1を超えて休むと期末試験の受験を認めない為、注意してください。 | | | | | | |
| 授業計画 | 回数 | 講義内容【担当教員】 | | | 事前・事後学修 | | |
| | 1 | オリエンテーション：人体の構成・位置・方向用語、触診の基本（手順・触り方）【伊藤】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 2 | 肩甲帯～上腕（骨）【伊藤】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 3 | 前腕～手指（骨）【伊藤】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 4 | 肩甲帯～上腕（筋）【伊藤】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 5 | 前腕～手指（筋）、上肢のまとめ【伊藤】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 6 | 頭頸部～脊柱（骨）【谷岡】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 7 | 頭頸部～脊柱（筋）【谷岡】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 8 | 骨盤～股関節（骨）【谷岡】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 9 | 骨盤～股関節（筋）【谷岡】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 10 | 脊柱～骨盤のまとめ【谷岡】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 11 | 大腿～膝（骨）【中川】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 12 | 下腿～足部（骨）【中川】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 13 | 大腿～膝（筋）【中川】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 14 | 下腿～足部（筋）【中川】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。次週の小テスト、触診テストに向けて復習する。（60分） | | |
| | 15 | 下肢のまとめ【中川】 | | | 講義で習ったことを必ず復習する。試験に向けて学習する。（60分） | | |
| 成績評価方法 | 講義試験70%、課題実技テスト20%、小テスト10% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 | | | | | | |
| 教科書 | 書名・著者（出版社） | | | ISBNコード | | | |
| | 運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢：動画プラス 改訂第2版（メジカルビュー社） | | | 9784758320931 | | | |
| 運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹：動画プラス 改訂第2版（メジカルビュー社） | | | 9784758320948 | | | | |
| 参考書 | P T ・ O T のための運動学テキスト-基礎・実習・臨床 第1版補訂2版（金原出版） | | | 9784307750691 | | | |
| | 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版 野村嶺・編（医学書院） | | | 9784260039222 | | | |
| 教員からのメッセージ | 感染対策に留意しながら実習は積極的に参加し、意味を理解して実施しましょう。講義で理解できないことは、すぐ担当教員に質問し、復習すること。理学療法士にとっても重要な学問です。授業後の復習をおこたらず、しっかり理解してください。次回の講義前にならず小テストを実施します。ヒューマン・アナトミー・アトラスなど解剖系のアプリ等々を利用して授業を行うとともに習熟度が深まりますのでお勧めします。 | | | | | | |
| 教員との連絡方法 | オフィスアワーやCラーニングを利用してください。 | | | | | | |
| 実務経験のある教員 | 実際臨床で理学療法士として働いていた教員で構成されます。その経験を生かして実際の体の仕組みや触り方を指導します。 | | | | | | |